



平成30年が間もなく終わろうとしています。年が改まる直前に、これからの節目に注目してみます。

■今日は、本学園の開校から634日目！（ムサン！）

■今日から577日後に2020オリンピック開幕！

■今日から609日後にパラリンピック開幕！

□今日から84日後に高等部3年生が卒業！

□今日から87日後に本校小・中学部・分教室卒業式！

「学びの2学期」を学園生・担当教職員と共にしっかりと伴走してくださった御家庭の支えに改めて感謝します。新しい年、学園生の新たな学びと成長に御期待ください。皆様、良い年をお迎えくださいませ。

光明学園通知表を御覧ください！

終業式日に学園生御本人にお渡しする光明学園通知表では、「学びの2学期」の学習内容とその評価を、できるだけ本人に伝わるように、各担当教員が力を注いで記載しています。御家庭に持ち帰りましたら、改めて保護者から通知表を読み上げて頂き、学習に向かう意欲や学習を通して輝いた姿を見出し、称えてください。

「通知表を終業式日前に早めにほしいのですが…」との御相談をいくつか頂戴しましたので、そうした取り扱いについてこの紙面で御説明します。

通知表は学期中の授業日数、出席・欠席日数等を事実として表紙に記載し、学期全般の学習成果と併せてお知らせする期末レポートです。よって学期途中に記載を確定することができない性格の文書です。（例えば期末より早くお渡ししますと、その後に臨時休業日が発生した場合、記載した授業日数が誤りになってしまう事もあります。）

そのため学期末の終業式日以降にお渡ししています。諸事情で終業式当日に出席されない学園生に関しては、終業式日以降に学校でお渡ししたり、郵送等でお届けしたりする形になります。但し訪問学級生につきましては、終業式となる日は個々に異なるので、本校・分教室での終業式日以前の個別の終業式日にお渡しする場合があります。

B：VR体験 in そよかぜ分教室

12/12（水）分教室では、専門企業の協力を得て、VR（ヴァーチャルリアリティ）体験を行いました。教室に居ながらにして、「動物園」でパンダやペンギンを見たり、他に「気球で大空散歩」「お笑いライブ体験」

「ハングライダー体験」。教室にいながらにして未体験ゾーンへワープした分教室の学園生達でした。

S：第37回肢体不自由児者の美術展の入賞！

12/6（水）、池袋の東京都芸術劇場ギャラリーで開催された伝統ある肢体不自由児者の美術展に本校S部門小学部4年生の山田萌々華さんの書「正しい心」が入選し展示されました。澤村PTA会長と校長もオープニングに招かれ、鑑賞する機会を得ました。

S：ミラコン2018プレゼンカップ全国大会にチャレンジ！

S高等部生徒が、自分の経験から得た「社会への提言」を5分以内のDVD作品にまとめて応募する全国大会が今年から始まりました。全国を7地区に分け、地区大会の最優秀賞作品（全国から計7本）が2/5のファイナルステージに進みます。先日東京地区大会の審査結果が届きました。14の応募があり、1年生の川田晃夫さんが第3位、2年生の朝日壘治さんが努力賞の栄誉を受けました。ファイナルステージへの進出はなりませんでしたが、大健闘。来年度再チャレンジを期待します。

新日本フィルハーモニーオーケストラが本校で公演！

開校一周年記念プログラムの一環としてSB両部門中学部・高等部対象の演奏会が12/19（水）に開催されました。訪問学級の学園生が多数参加できたことも嬉しいことでした。

選抜3名の指揮者体験もあり、保護者席も大いに盛り上がりました。



鹿本学園と虹の友情校の縁組み締結！

23区内初の大規模肢・知併置校として、本校より3年早く開校された鹿本学園と11/1付で虹と光の友情校の縁組みを締結しました。併置校開校の先輩校である鹿本学園には、本学園の開設準備時代から、様々な応援をしていただけています。これを機にスポーツ交流や遠隔授業交流など、虹と光の友情を深めていきます。

校長 田村 康二郎

(B部門) 高等部第1学年 移動教室「長野・松本」(11月14日～16日)

光明学園が誕生し、初めてとなるB部門高等部1年生(3名)の移動教室が、11月14日(水)～16日(金)の2泊3日で実施されました。行先は、長野県の松本市及び長野市方面です。

1日目、新宿から「スーパーあずさ」に揺られ、松本へ。車窓からの風景は、松本に近づくにつれ紅葉が深まっていくのが分かりました。松本駅につくと目の前にアルプスの美しい山々が360度に広がり、空気は澄み、恵まれた自然環境を肌で感じる事ができました。ホテルに荷物を置き、街の中心である「**国宝・松本城**」へ。お天気が良く、紅葉も素晴らしく、お城の白と黒のコントラストがアルプスの山々に映えて見事な景観でした。お城の前で武者(に扮した地元の方)に遭遇! 恥ずかしながらも自分なりにポーズをした生徒たちです。



2日目は松本から「特急しなの」に揺られ「**国宝・善光寺**」の所在地で仏都ともいわれる長野市へ向かいました。松本から長野までの区間は、日本三大車窓ともいわれるほど雄大な景色が続きます。

事前学習で「遠くとも一度は参れ善光寺」「牛にひかれて善光寺参り」などの話を学んだ生徒たち。昔の人がお参りしたいと切望したこのお寺の、荘厳かつ華やかな雰囲気を感じました。敷地内にある資料館にある「一文字写経」の体験コーナーへ。般若心経の文字を一文字選び、それぞれ好きな文字を思いを込めて書いていました。

午後は「**長野地方気象台**」へ行き、気象の学習をし

ました。ペットボトルなどを使い、雲や竜巻を発生させる!という実験を行いました。「～さんの竜巻はきれい」「ペットボトルを押すコツは・・・」など言いながら、盛り上がりました。職員の方に観測方法や雨量計などについて教えて頂くこともできました。「寄宿舍の朝の会でいつも天気の確認をしているが、曇りと晴れの境目を知りたい!」と積極的に質問する生徒もいました。

2か所の見学を終え、「特急しなの」で再び松本へ。夕食後は、ホテル内最上階のフリースペースで夜景を観ながらカードゲームを楽しみました。いつも学校の休み時間にやっているゲームですが、ルールを知らない先生に一生懸命説明したり、みんなで戦略を考えたり、移動教室ならではの思い出になりました。



3日目は、松本市内で2か所の見学をしました。

まずは「**はかり資料館**」へ。両替天秤など「測る」「量る」「計る」道具と、その関連資料約1300点を収蔵している施設です。升の中に木製の三角錐を入れる学習や升の中にどれくらいものが入るか数えてみるなど、実践的な数学の学習にも取り組むことができました。そして最後の見学場所は「**松本市美術館**」です。彫刻家・太田南海や松本市出身の世界的アーティスト草間彌生の作品を鑑賞しました。入り口にある草間作品の前で記念撮影。チューリップの花の中に入っていった生徒がいたのが印象的でした。

文化薫るアルプスの城下町松本市、善光寺で有名な長野市と、「みどころ」いっぱいの2つの街を満喫することができました。机上の学習とは一味違う「体験を通じた学び」を体感した3日間で、ひとまわり成長した3名でした。



(B部門高等部教諭 阿部美奈子)

寄宿舍 (S・B部門) お楽しみ会



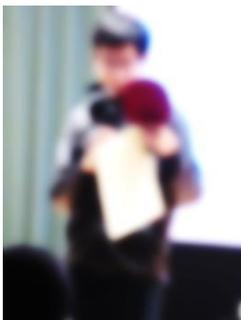
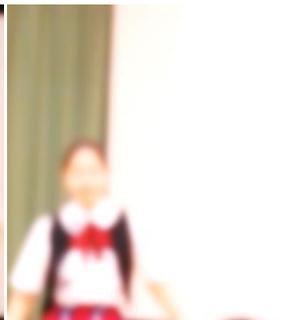
12月17日(月)、寄宿舍のプレイルームにて「お楽しみ会」が開催されました。今年度の実行委員は4名、井川さん・長谷川さん・伊藤さん・廣津さんでした。

まず3チームによるクイズ対抗戦。内容は実行委員のオリジナル、題して「寄宿舍☆ウルトラクイズ」。パーツあて、ミオクイズ、Brain Battle (ブレインバトル)、イントロ ドン!等を行いました。特に難解だったのはミオクイズ、Brain Battle。みんなで考えても分からずその難解さで盛り上がり、他の2つのクイズはチームみんなで楽しく考えられる問題で盛り上がりました。

次に出し物コーナー。発表をする舎生達は当日に向けて練習を重ねてきました。下校後、プレイルームに集まって毎日秘密練習をした人たち、サークル活動の時間を利用して練習した人、一人自主練習をした人などなど。みなさん衣装まで凝っていて観客を驚かせました。発表したみなさんは張り切って本番に臨み、練習の成果を披露できました。満足した様子でした。

最後は成績発表。クイズ、出し物の総合得点では、優勝はAチーム、2位はBチーム、3位はCチームでした。優勝チームには賞状、トロフィーが代表の伊藤さん・板垣さんに手渡されました。

昨年度以上に実行委員が企画から参加し希望献立もその1つ。お品書きは開くと飛び出すカードのアイデア。さらに夕食時には各テーブルを電飾入りカードが彩りを添えました。準備から当日の司会進行、クイズなどを担当した実行委員さん、出し物発表をした舎生のみなさん、お疲れさまです。今年度も学園の歴史に新しいページを加えることができました。(主任寄宿舍指導員 三宅義文)



(S部門) 小学部オリパラ訪問イベント

学園小学部が、「東京2020賞」を受賞したことで実現したオリパラアスリートとマスコットの訪問がありました。これは昨年行われたマスコットを選ぶ投票で、2020の倍数である14140番目に投票したためです。とてもラッキーな出来事です。

小学部の子供たちは、この訪問イベントを心待ちにしていました。アスリートは、バレーボールのオリンピック大竹 秀之選手。マスコットは、「ミライトワ」と「ソメイティ」。小学部児童が慣れ親しんでいるソフトバレーボールを、一緒に楽しみました。

大竹選手は、192cmもある身長で、迫力のあるバレーのスパイクを見せてくれました。そして、小学部の子供たちとの円陣パスでは、腰を低くして一人一人と視線を合わせてトスを出してくださいました。優しいお人柄が伝わってくる素敵なプレーでした。

ソフトバレー対決では、ミライトワ・ソメイティも応援するだけでなく、一緒に参加し、優しく風船をパスしてくれました。大好きなキャラクターを間近で見られた子供たちは、とてもわくわくした表情で、大喜

びでした。イベントの様子は、東京2020組織委員会のHPでも紹介されています。この訪問を機に、小学部ではより一層楽しくオリパラの学習を深めていきます。(S小学部主幹教諭 小澤奈緒美)



(S・B部門) 中学部 学部集会

中学部は12月13日(木)、S・B合同学部集会を行いました。内容は恒例の「箱バトル!」。寒さを吹き飛ばすべく、B部門4名、S部門通学生36名、訪問生2名の参加で、体育館いっぱいに箱バトルを繰り広げました。

事前の学習でそれぞれ工夫を凝らし自分の得意な運び方、かつ効率的な運び方を研究し、「自分はこの運び方!」と決めました。運び方も人それぞれ。テーブルに載せて運ぶ人、持って走る人、押して運ぶ人、積めるだけ積んでみる人…、個性があふれています。

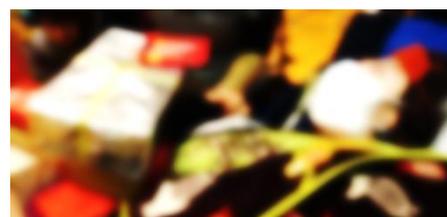


3チームに分かれ、運んだ箱の数で得点を競いますが、



今年が目玉は何といても、左下の写真の赤い封筒。この封筒の中に「ボーナスポイントプラス10点」や「マイナス3点」と書かれたカードが…。合計得点に影響大です。

中にはこの封筒がついている箱だけを選んで運んだ人もいました。



結果発表の後、各チームのキャプテンが集まり、それぞれの健闘を称えあつての握手をしました。B部門の人数が増えたこともあり、一層にぎやかに、そして普段なかなかできない部門を越えた交流の機会にもなりました。



(S部門
中学部
主幹教諭
伊丹真紀)

(S部門) 高等部 自然体験学習芋掘り・大根抜き

S部門高等部では、2学期中にグループごとの「自然体験学習」を実施してきました。

具体的には、駒沢の秋山農園や学校の農園で、芋掘りや大根抜きの収穫を体験しました。

この体験を通して、生徒たちは多くのことを学びました。学んだことを具体的に列挙してみると

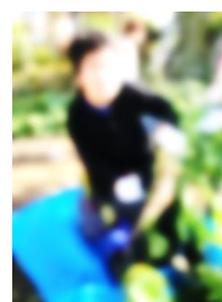
- ①実際の採れたての野菜の感触、畑の土の匂いなどを感じることができた。
- ②自然に対する感性が豊かなものになった。
- ③自分たちが食している芋や大根が、どのようにできるのかを知ることができた。等々です。



生徒たちは、一所懸命紐を引っ張りながら、自分の力で、驚くほどの量の芋や大根を収穫することができました。採ったばかりの芋や大根は、袋に詰めて自宅に持ち帰りました。

翌朝のHRは、「昨日の夕飯は大根入りのおでんだ

った」、「焼き芋だった」、「うちは大根の味噌汁だったよ」という生徒からの楽しい報告で盛り上がりました。



夕飯の食卓を囲んで、家族の方と、生徒の収穫の苦労話を聞きながら、楽しいだんらのひと時を過ごされたことが想像できました。

秋の一日、生徒たちは

この自然体験を通して、収穫時の協力の大切さに加えて、普段当たり前前に食べている野菜や果物が多くの人の手を経て食卓に並ぶことも理解できたと思います。(S部門高等部主幹教諭 長 雅洋)